



平成30年4月25日

一般財団法人 日本航路標識協会

「マレーシアARTV第2期プロジェクト」開始

平成28年3月から開始されたVTS人材育成協力プロジェクトに引き続き、平成30年3月よりASEAN諸国で初となるARTVとASEAN諸国を遠隔通信で接続した、VTS管制官育成研修（標準・短期）及びVTS管理者研修等に関するプロジェクトを実施します。

（注）VTS：Vessel Traffic Service（船舶通航サービス）

ARTV：ASEAN地域VTS訓練センター

1 プロジェクトの目的

ASEAN諸国において国際資格を持つVTS管制官が少ないことから、その育成についてASEANから我が国に支援要請があり、我が国では日・ASEAN交通連携プログラムの下、平成28年からの2か年にて、マレーシアにVTSのためのASEAN地域訓練センター（ARTV）を設立し、国際資格を持つVTS管制官の育成研修を実施するプロジェクト（以下、「第1期プロジェクト」という。）を実施しているところである。

この度、ASEANから我が国に対して平成30年度以降の支援継続の要請があり、マレーシア運輸省海事局がVTS管制官育成研修の継続及び見直し、VTS管理者研修の新設並びにこれらに伴うARTVのシステム改修等を行うプロジェクト（以下、「第2期プロジェクト」という。）を交通連携における活動の一環「海の安全についての協力（VTS人材育成協力プロジェクト）」として提案し、第15回日・ASEAN交通大臣会合（平成29年10月13日）において採択された。この財源は、日本政府がASEAN事務局に対して拠出した日・ASEAN統合基金（JAIF）を活用して実施される。

また本プロジェクトは、日本が推進する、自由で開かれたインド太平洋を介してアジアとアフリカの「連結性」を向上させ、地域全体の安定と繁栄を促進する「自由で開かれたインド太平洋戦略」に合致するものである。

2 プロジェクトの概要

（1）システム改修

以下の機能を付すために、ARTVの既設シミュレータの改修及びASEAN各国への機器整備を行う。

- ・ VTS 管制官研修短期コースのためのクラウド型の認証システム (ARTV)
 - ・ クラウド型の海域のリスク評価ツールの導入 (ARTV)
 - ・ 各国 AIS 情報の収集 (AMS) 及びクラウドへの集約 (ARTV)
 - ・ クラウド利用のための端末 (AMS)
- (2) VTS 管制官研修 (標準コース)
- 第1期プロジェクトと同様の管制官研修を3ヶ月間の研修を2回に分けて実施する。
- (3) VTS 管制官研修 (短期コース)
- VTS の運用に求められる知識・技能を既に有している者に対する1ヶ月間の研修を新設する。
- (4) VTS 管理者研修
- VTS の設置・改修にかかる計画立案、評価等を行う管理者を育成する2週間の研修を新設する。

3 実施体制

本プロジェクト実施にあたり、下記のとおり実施主体を設立する。

- (1) 実施主体A (一般財団法人 日本航路標識協会)
- プロジェクトの総合調整及び管理、JAIFから受領した資金の管理、機器の調達及び訓練資料の作成
- (2) 実施主体B (ASEAN地域訓練センター専門家チーム)
- センター運営方針等の策定、教官及び訓練生の選定、IALAとの連絡調整
- (3) 実施主体C (マレーシア運輸省海事訓練センター)
- 実施主体Aと協力した訓練の実施、供与機器の保守運用

4 今後の予定

- ・ 平成31年8月までに、ASEAN各国に設置するコンソール、AIS受信機等の機器整備を完了する。
- ・ 平成30年9月からスタンダードコースの訓練を、平成31年10月からショートコースの訓練を、平成32年1月マネージャーコースの訓練をそれぞれ開始する。
- ・ 平成30年4月、平成31年4月、平成32年1月に実施主体A・B・C (ASEAN地域訓練センター 専門家チーム) による専門家グループ会合を実施する。

5 情報の掲載先

今後、本プロジェクトに関する情報等については、一般財団法人 日本航路標識協会のホームページ (<http://www.jana.or.jp/>) に掲載します。



問い合わせ先 一般財団法人 日本航路標識協会
総務部長 大谷 雅彦
電話 : 03 - 3230 - 1470
E-mail : soumu@jana.or.jp